

「平成29年度」

公開財務情報及び事業報告

- ①財産目録
- ②貸借対照表
- ③資金収支計算書
- ④活動区分資金収支計算書
- ⑤事業活動収支計算書
- ⑥事業報告書
- ⑦監査報告書

① 財産目録

(平成30年3月31日現在)

(単位:千円)

I. 資産総額	9,311,074千円
内 基本財産	5,208,801千円
運用財産	4,102,273千円
収益事業用財産	0千円
II. 負債総額	767,797千円
III. 正味財産	8,543,277千円

区分	金額
資産額	
1. 基本財産	
土地	29,922 m ² 960,330千円
建物	20,722 m ² 3,780,885千円
図書	21,345 冊 25,794千円
教具・校具・備品	7,847 点 227,785千円
その他	214,007千円
2. 運用財産	
現金預金	2,061,017千円
その他	2,041,256千円
3. 収益事業用財産	0千円
I. 資産総額	9,311,074千円
負債額	
1. 固定負債	
その他	270,418千円
2. 流動負債	
その他	497,379千円
II. 負債総額	767,797千円
III. 正味財産 (資産総額-負債総額)	8,543,277千円

② 貸借対照表

(平成30年3月31日)

(単位:千円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	7,236,080	6,186,760	1,049,320
有形固定資産	5,208,372	4,330,765	877,607
土地	960,330	915,413	44,917
建物	3,780,885	2,650,654	1,130,231
その他の有形固定資産	467,157	764,698	△ 297,541
特定資産	1,720,416	1,644,780	75,636
その他の固定資産	307,292	211,215	96,077
流動資産	2,074,994	2,503,270	△ 428,276
現金預金	2,061,017	2,477,123	△ 416,106
その他の流動資産	13,977	26,147	△ 12,170
資産の部合計	9,311,074	8,690,030	621,044
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	270,418	244,834	25,584
長期借入金	0	0	0
その他の固定負債	270,418	244,834	25,584
流動負債	497,379	561,082	△ 63,703
短期借入金	0	0	0
その他の流動負債	497,379	561,082	△ 63,703
負債の部合計	767,797	805,916	△ 38,119
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	8,869,077	7,732,600	1,136,477
第1号基本金	7,309,077	6,222,600	1,086,477
第2号基本金	1,450,000	1,400,000	50,000
第4号基本金	110,000	110,000	0
繰越収支差額	△ 325,800	151,514	△ 477,314
翌年度繰越収支差額	△ 325,800	151,514	△ 477,314
純資産の部合計	8,543,277	7,884,114	659,163
負債及び純資産の部合計	9,311,074	8,690,030	621,044

③ 資金収支計算書

平成29年4月1日から

平成30年3月31日まで

(単位:千円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	2,256,425	2,256,425	0
手数料収入	36,475	36,464	11
補助金収入	106,867	106,867	0
資産売却収入	11	11	0
付随事業・収益事業収入	600	600	0
受取利息・配当金収入	1,094	1,091	3
雑収入	9,749	9,676	73
前受金収入	361,800	361,800	0
その他の収入	465,148	464,396	752
資金収入調整勘定	△ 405,796	△ 405,828	32
前年度繰越支払資金	2,477,123	2,477,123	0
収入の部合計	5,309,496	5,308,625	871
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,040,260	1,039,816	444
教育研究経費支出	365,427	365,094	333
管理経費支出	100,949	100,804	145
施設関係支出	1,024,018	1,024,018	0
設備関係支出	70,348	70,338	10
資産運用支出	75,636	75,636	0
その他の支出	605,945	605,957	△ 12
資金支出調整勘定	△ 34,055	△ 34,055	0
翌年度繰越支払資金	2,060,968	2,061,017	△ 49
支出の部合計	5,309,496	5,308,625	871

④ 活動区分資金収支計算書

平成29年4月1日から

平成30年3月31日まで

(単位:千円)

		科 目	金 額	
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	2,256,425	
		手数料収入	36,464	
		経常費等補助金収入	106,867	
		付随事業収入	600	
		雑収入	9,676	
		教育活動資金収入計	2,410,032	
	支出	人件費支出	1,039,816	
		教育研究経費支出	365,094	
		管理経費支出	100,804	
		教育活動資金支出計	1,505,714	
		差引	904,318	
		調整勘定等	△ 57,245	
		教育活動資金収支差額	847,073	
施設整備等活動による資金収支	収入	施設設備売却収入	11	
		施設整備等活動資金収入計	11	
	支出	施設関係支出	1,024,018	
		設備関係支出	70,338	
		第2号基本金引当特定資産繰入支出	50,000	
		施設整備等活動資金支出計	1,144,356	
			差引	△ 1,144,345
			調整勘定等	4,018
		施設整備等活動資金収支差額	△ 1,140,327	
		小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 293,254	
その他の活動による資金収支	収入	受取利息・配当金収入	1,091	
		預り金受入収入	431,970	
		仮払金回収収入	16,125	
		その他の活動資金収入計	449,186	
	支出	退職給与引当特定資産繰入支出	25,636	
		預り金支払支出	432,996	
		仮払金支払支出	13,407	
		拠出金支払支出	100,000	
		その他の活動資金支出計	572,039	
			差引	△ 122,853
		その他の活動資金収支差額	△ 122,853	
		支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△ 416,107	
		前年度繰越支払資金	2,477,123	
		翌年度繰越支払資金	2,061,017	

⑤ 事業活動収支計算書

平成29年4月1日から
平成30年3月31日まで

(単位:千円)

		科 目	予 算	決 算	差 異	
教育活動収入の部	事業活動収入の部	学生生徒納付金	2,256,425	2,256,425	0	
		手数料	36,475	36,464	11	
		経常費等補助金	106,867	106,867	0	
		付随事業収入	600	600	0	
		雑収入	9,750	9,676	74	
		教育活動収入計	2,410,117	2,410,032	85	
				科 目	予 算	決 算
教育活動支出の部	事業活動支出の部	人件費	1,065,896	1,065,399	497	
		教育研究経費	572,903	572,586	317	
		管理経費	114,129	113,985	144	
		教育活動支出計	1,752,928	1,751,970	958	
		教育活動収支差額	657,189	658,062	△ 873	
教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目		予 算	決 算	差 異
		受取利息・配当金	1,094	1,091	3	
		その他の教育活動外収入	0	0	0	
			教育活動外収入計	1,094	1,091	3
	事業活動支出の部	科 目		予 算	決 算	差 異
		借入金利息	0	0	0	
		その他の教育活動外支出	0	0	0	
教育活動外支出計		0	0	0		
		教育活動外収支差額	1,094	1,091	3	
		経常収支差額	658,283	659,153	△ 870	
特別収支	事業活動収入の部	科 目		予 算	決 算	差 異
		資産売却差額	11	11	0	
		その他の特別収入	0	0	0	
			特別収入計	11	11	0
	事業活動支出の部	科 目		予 算	決 算	差 異
		資産処分差額	0	0	0	
		その他の特別支出	0	0	0	
特別支出計		0	0	0		
		特別収支差額	11	11	0	
		基本金組入前当年度収支差額	658,294	659,164	△ 870	
		基本金組入額合計	△ 1,136,478	△ 1,136,478	0	
		当年度収支差額	△ 478,184	△ 477,314	△ 870	
		前年度繰越収支差額	151,514	151,514	0	
		翌年度繰越収支差額	△ 326,670	△ 325,800	△ 870	
(参考)						
		事業活動収入計	2,411,222	2,411,134	88	
		事業活動支出計	1,752,928	1,751,970	958	

⑥事業報告書

1. 法人の概要

1. 学校法人の沿革

大正 7年	城西実務学校 設立
昭和 26年	学校法人城西学園へ組織変更
昭和 59年 4月	城西医療技術専門学校（診療放射線学科） 設立
平成 8年 4月	城西医療技術専門学校に理学療法学科 開設
平成 11年 4月	城西医療技術専門学校に作業療法学科 開設
平成 15年 8月	学校法人埼玉城西学園設立 城西医療技術専門学校（3学科）を移管
平成 18年 11月	学校法人城西医療学園に組織変更、日本医療科学大学設立認可
平成 19年 4月	日本医療科学大学 保健医療学部 診療放射線学科・リハビリテーション学科（理学療法学専攻・作業療法学専攻） 開設
平成 21年 3月	城西医療技術専門学校 閉校
平成 24年 4月	日本医療科学大学 看護学科・臨床工学科 開設

2. 設置する学校・課程・学科・入学定員・学生数の状況（平成 30年 5月 1日現在）

学校名 (所在地)	学部・学科名等	開設 年度	入学 定員	収容 定員	30年度 定員	在籍人員	
							女子
日本医療科学大学 (埼玉県入間郡毛呂山町)	保健医療学部	H19	320	1,280	1,280	1460	686
	診療放射線学科	H19	80	320	320	391	173
	リハビリテーション学科	H19	120	480	480	515	180
	<理学療法学専攻>	<H19>	<80>	<320>	<320>	<354>	<99>
	<作業療法学専攻>	<H19>	<40>	<160>	<160>	<161>	<81>
	看護学科	H24	80	320	320	361	286
	臨床工学科	H24	40	160	160	193	47

3. 役員（平成 30年 5月 1日現在）

8名；理事6名（うち、理事長1名、副理事長1名）、監事2名

4. 教職員（平成 30年 5月 1日現在）

学長	副学長	学部長	診療放射線学科	リハビリテーション 学科		看護学科	臨床工学科	医療・基礎教育科	専任教員計	事務職員	兼任教員計	総合計
				理学療法学専攻	作業療法学専攻							
1	0	1	10	11	8	29	8	11	79	41	135	255
(0)	(0)	(0)	(2)	(2)	(2)	(26)	(0)	(3)	(35)	(21)	(31)	(87)

下段の（ ）は女性

5. 入学試験の概要

年度	診療放射線 学科		リハビリテーション学科				看護学科		臨床工学科		合計	
	志願 者数	入学 者数	志願 者数	入学 者数	志願 者数	入学 者数	志願 者数	入学 者数	志願 者数	入学 者数	志願 者数	入学 者数
30 年度	549 (217)	84 (39)	258 (88)	82 (20)	115 (63)	37 (17)	273 (201)	86 (67)	266 (97)	49 (14)	1,461 (666)	338 (157)
29 年度	532 (197)	99 (47)	309 (87)	87 (27)	147 (70)	43 (21)	375 (289)	93 (78)	223 (75)	51 (13)	1,586 (718)	373 (186)
28 年度	675 (262)	96 (42)	309 (86)	99 (28)	133 (54)	38 (16)	289 (221)	98 (80)	288 (96)	53 (14)	1,694 (719)	384 (180)
27 年度	597 (167)	96 (40)	410 (101)	97 (28)	170 (79)	50 (30)	367 (280)	88 (66)	266 (66)	45 (10)	1,810 (693)	376 (174)
26 年度	574 (173)	101 (43)	420 (136)	97 (26)	189 (70)	49 (25)	346 (238)	88 (67)	172 (39)	45 (5)	1,701 (656)	380 (166)
25 年度	787 (273)	93 (41)	440 (116)	100 (29)	191 (85)	46 (24)	363 (248)	93 (67)	268 (79)	45 (13)	2,049 (801)	377 (174)

下段の（ ）は女子学生

6. 平成29年度 卒業・就職等の状況

	4年次 在籍 者数	卒業 生数	留年 者数	退学 者数	休学 者数	進学 者数	国家試験 合格者数	合格率 (%) <※>	平均合格率 新卒平均 (%)	合格者 就職者数	本学既卒 不合格者数 [累計]
診療放射線学科	115 (47)	91 (39)	19 (7)	4 (0)	1 (1)	1 (1)	80 (37)	87.9 (94.9)	75.3 84.8	76 (36)	11 [41]
リハビリテーション 学科	135 (47)	102 (35)	30 (11)	3 (1)	0 (0)	0 (0)	86 (30)	84.3 (85.7)		85 (30)	16 [46]
理学療法 学専攻	94 (29)	74 (22)	18 (6)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	60 (18)	81.1 (81.8)	81.4 87.7	60 (18)	14 [21]
作業療法 学専攻	41 (18)	28 (13)	12 (5)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	26 (12)	92.9 (92.3)	76.2 83.9	25 (12)	2 [25]
看護学科	83 (61)	74 (55)	7 (4)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	72 (54)	97.3 <60.0> (98.2)	91.0 96.3	71 (53)	2 [3]
臨床工学科	45 (6)	39 (5)	6 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	31 (3)	79.5 (60.0)	73.7 82.8	30 (3)	8 [12]

下段の（ ）は女子学生。<※>看護学科合格率（上段；看護師、中段；<保健師>）

2. 平成29年度事業の概要

1 教学部門強化に向けた取り組み

- (1) 平成29年度の国家試験については、年度の早い段階から国家試験対策教材を使用した補講や模擬テストの実施、成績不良者に対する個別指導、夏季・春季等の長期休暇を含め休日における補講と自習、既卒生に対する特別クラスの編成、通常の補習授業など手厚い指導を行なった結果、全ての学科専攻で全国平均並み、或いはそれ以上の合格率となり、昨年度と比べて大きく改善された。
- (2) AO入試・推薦入試合格者を対象に、入学予定者に対し入学前の12月にウォーミングアップセミナーや入学前課題を実施し基礎学力の強化を行った。入学後は新入生全員に対し1泊2日(4月5日~6日)のフレッシュマンセミナーを実施し、大学生活のガイダンスを行うとともに学生間の交流を図った。
- (3) 平成26年度よりスタートした基礎学力向上のための総合学習支援は、学生個人のポテンシャルを発揮させ真の専門力と臨床実践力を習得した医療人を輩出するため、医療・基礎教育科において個別指導や各種セミナーの開講など学生サポートを行った。
- (4) 平成29年度も、全学的な特別講義として青島健太客員教授の特別講演会を実施した。(5月22日)

2 学生募集

2018年問題が本格化する中、文部科学省による新たな選抜方式「大学入学者選抜改革」、これは主に多面的・総合的に評価する入試に転換するもので、平成32年度の本格導入に備え、当局主催による「大学入試共通テストのプレテスト」が実施され、本学もこれに参加する。これらを見据え、平成29年度も早い段階から職員による高校へのアプローチ推進および各種進学説明会への積極的な参加により、入学者の招致に尽力してきた。加えて、オープンキャンパスによる高校生の招致、ホームページの内容の充実等により、学生募集に傾注した。その結果、全学科で1,461名の志願者を獲得し338名の新入生を迎えることができた。学科ごとの内訳としては、診療放射線学科84名(定員80名)、リハビリテーション学科理学療法学専攻82名(定員80名)、作業療法学専攻37名(定員40名)、看護学科は86名(定員80名)、臨床工学科は49名(定員40名)と何れも多くの新入生を迎えることができたが、昨年度と比べると35名減となっており、全体では収容定員は満たしているものの、依然として学生数確保に苦戦する学科専攻もあり、今年度以降課題を整理し次年度に繋げたい。

3 就職支援の充実

昨年から続く、就職活動を行う学生にとっての「売り手市場」と言われる状態は続いてはいるものの、現実には厳しいと指摘されるなか、本学においては「就活 ZERO 宣言」が着実に定着し、学生が国家試験に対して周到に準備出来る学習環境を確保し、円滑な就職活動を可能にする体制構築に推進した結果、対象学生については概ね就職が内定した。具体的な施策は以下の通り。

- (1) 平成 28 年度に引き続き、全国各地の医療施設採用担当者の参加による求人説明会を、「東京国際フォーラム」にて大々的に開催した。平成 29 年度の施設数は、昨年度の 421 施設 660 人から 408 施設 609 人となり、前回同様 4 年生に加え 3 年生が参加し実施した。これにより学生は、早い段階から就職への意識浸透と 408 施設への興味を醸成できた。(8 月 24 日)
- (2) 学生が就活最前線に挑む前段階で、将来より良い医療従事者となるための心構えや面接時の留意点などについて、外部講師招聘による解説、加えて模擬面接も行う就職セミナーを実施した。(4 月 6 日、8 月 3 日、8 月 4 日)
- (3) 就職支援センターに常駐の職員を配置し、求人票の閲覧や就職相談や履歴書の書き方の相談等も日常的に行った。更には全国の医療施設に対する個別の訪問を行う職員及びハローワークからの派遣職員を置き、情報の円滑な開示を行った。

東京国際フォーラムでの
求人説明会の様子



(4) 平成 29 年度の求人数は以下の通りであった。

診療放射線学科	求人施設数	580 施設	求人数	1,047 人
理学療法学専攻	"	1,110 施設	"	3,866 人
作業療法学専攻	"	1,144 施設	"	3,385 人
看護学科	"	628 施設	"	14,140 人
臨床工学科	"	330 施設	"	486 人

(5) 主な就職先は以下のとおりである。

①診療放射線学科 (62 施設)

都道府県	内定先	都道府県	内定先
北海道	釧路孝仁会記念病院	千葉県	国立がん研究センター東病院
岩手県	北上済生会病院	千葉県	千葉西総合病院
岩手県	岩手医科大学附属病院	東京都	池袋ロイヤルクリニック
宮城県	総合南東北病院	東京都	東京城東病院
宮城県	坂総合病院	東京都	日本赤十字社医療センター(非常勤)
秋田県	秋田病院	東京都	東京慈恵会医科大学附属病院
福島県	福島県厚生農業協同組合連合会	東京都	日本大学医学部附属板橋病院
福島県	公立相馬総合病院	東京都	東京都病院経営本部
茨城県	水戸ブレインハートセンター	東京都	日本医科大学付属病院
群馬県	群馬県立小児医療センター(研修生)	東京都	北里大学北里研究所病院
群馬県	石井病院	東京都	メディカルスキニング
群馬県	善衆会病院	東京都	がん研究会有明病院
群馬県	内田病院	東京都	江戸川病院
群馬県	群馬県立がんセンター(研修生)	東京都	同愛記念病院
群馬県	日高病院	東京都	東京西徳洲会病院
群馬県	真木病院	東京都	昭和大学病院
群馬県	高木病院	東京都	府中恵仁会病院
埼玉県	東川口病院	東京都	国立国際医療研究センター病院(非常勤)
埼玉県	イムス三芳総合病院	神奈川県	相模野病院
埼玉県	イムス富士見総合病院	神奈川県	海老名総合病院
埼玉県	TMG あさか医療センター	神奈川県	日本鋼管病院
埼玉県	埼玉医科大学総合医療センター	神奈川県	汐田総合病院
埼玉県	獨協医科大学埼玉医療センター	神奈川県	菊名記念病院
埼玉県	羽生総合病院	神奈川県	よこすか浦賀病院
埼玉県	関越病院	神奈川県	総合川崎臨港病院
埼玉県	所沢第一病院	神奈川県	牧野記念病院
埼玉県	藤村病院	山梨県	山梨県立中央病院
埼玉県	さいたま北部医療センター	山梨県	加納岩総合病院
埼玉県	三郷中央総合病院	静岡県	静岡済生会総合病院
埼玉県	三愛会総合病院	長野県	北信総合病院
千葉県	千葉県循環器病センター	長野県	佐久総合病院

②リハビリテーション学科 理学療法学専攻（56 施設）

都道府県	内定先	都道府県	内定先
福島県	池田記念病院	埼玉県	富家病院
茨城県	いちほら病院	埼玉県	武蔵嵐山病院
茨城県	筑波学園病院	埼玉県	光の家療育センター
茨城県	古河総合病院	埼玉県	埼玉セントラル病院
茨城県	総和中央病院	東京都	イムス板橋リハビリテーション病院
茨城県	守谷慶友病院	東京都	東京慈恵会医科大学附属第三病院
茨城県	北水会記念病院	東京都	小金井リハビリテーション病院
栃木県	リハビリテーション花の舎病院	東京都	ねりま健育会病院
栃木県	栃木県医師会塩原温泉病院	東京都	吉祥寺南病院
群馬県	イムス太田中央総合病院	東京都	初台リハビリテーション病院
群馬県	慶友整形外科病院	東京都	神谷病院
埼玉県	三郷中央総合病院	東京都	杉並リハビリテーション病院
埼玉県	東川口病院	東京都	武蔵村山病院
埼玉県	イムス三芳総合病院	東京都	東京さくら病院
埼玉県	埼玉みさと総合リハビリテーション病院	東京都	田園調布中央病院
埼玉県	戸田中央総合病院	東京都	日本大学医学部附属板橋病院
埼玉県	埼玉医科大学病院	東京都	南多摩病院
埼玉県	石井クリニック	東京都	永生病院
埼玉県	霞ヶ関南病院	東京都	吉祥寺南病院
埼玉県	行田総合病院	東京都	江東病院
埼玉県	リハビリテーション天草病院	東京都	代々木病院
埼玉県	益子病院	東京都	日本医科大学付属病院
埼玉県	介護老人保健施設 はつらつ	神奈川県	ジャパンメディカルアライアンス
埼玉県	介護老人保健施設 秋桜	山梨県	湯村温泉病院
埼玉県	介護老人保健施設 富士見の里	山梨県	白根徳洲会病院
埼玉県	熊谷総合病院	長野県	相澤病院
埼玉県	大生病院	静岡県	岡本石井病院
埼玉県	清水病院	石川県	金沢医療センター（国立病院機構）

③リハビリテーション学科 作業療法学専攻（25 施設）

都道府県	内定先	都道府県	内定先
秋田県	中通リハビリテーション病院	埼玉県	飯能靖和病院
山形県	吉川記念病院	埼玉県	富家病院
茨城県	つくばセントラル病院	埼玉県	株式会社てくてく
栃木県	宇都宮病院（国立病院機構）	埼玉県	和光リハビリテーション病院
群馬県	内田病院	埼玉県	株式会社パル・オネスト PalSchool
群馬県	関越中央病院	東京都	新百合ヶ丘総合病院
埼玉県	東川口病院	東京都	東京都健康長寿医療センター
埼玉県	介護老人保健施設 埼玉ロイヤルケアセンター	東京都	ねりま健育会病院
埼玉県	TMG あさか医療センター	東京都	医療法人社団 福寿会
埼玉県	埼玉医科大学病院国際医療センター	東京都	初台リハビリテーション病院
埼玉県	丸木記念福祉メディカルセンター	東京都	多摩あおば病院
埼玉県	原田病院	静岡県	沼津リハビリテーション病院
埼玉県	西大宮病院		

④看護学科（49施設）

都道府県	内定先	都道府県	内定先
群馬県	公立藤岡総合病院	千葉県	亀田総合病院
埼玉県	上尾中央総合病院	東京都	成仁病院
埼玉県	武蔵野病院	東京都	東京都健康長寿医療センター
埼玉県	TMG あさか医療センター	東京都	東京臨海病院
埼玉県	川口市立医療センター	東京都	東京北医療センター
埼玉県	埼玉協同病院	東京都	公立昭和病院
埼玉県	埼玉県立小児医療センター	東京都	NTT 東日本関東病院
埼玉県	自治医科大学附属さいたま医療センター	東京都	日本赤十字社医療センター
埼玉県	圏央所沢病院	東京都	東京都立松沢病院
埼玉県	防衛医科大学校病院	東京都	国立がん研究センター中央病院
埼玉県	埼玉県立がんセンター	東京都	多摩北部医療センター
埼玉県	越谷市立病院	東京都	榊原記念病院
埼玉県	埼玉石心会病院	東京都	武蔵野赤十字病院
埼玉県	戸田中央総合病院	東京都	東京慈恵会医科大学附属病院
埼玉県	東埼玉総合病院	東京都	東京山手メディカルセンター
埼玉県	イムス三芳総合病院	東京都	三井記念病院
埼玉県	小川赤十字病院	東京都	総合東京病院
埼玉県	TMG あさか医療センター	東京都	榊原記念病院
埼玉県	麻見江ホスピタル	神奈川県	横須賀市立うわまち病院
埼玉県	イムス富士見総合病院	神奈川県	横浜栄共済病院
埼玉県	埼玉病院（国立病院機構）	長野県	桔梗ヶ原病院
埼玉県	埼玉県病院局	静岡県	静岡県立病院機構
埼玉県	医療生協さいたま生活協同組合	三重県	紀南病院
千葉県	順天堂大学医学部附属浦安病院	京都府	西京都病院
千葉県	東邦大学医療センター佐倉病院		

⑤臨床工学科（31 施設）

都道府県	内定先	都道府県	内定先
福島県	渡辺病院	千葉県	国際医療福祉大学千葉病院
群馬県	群馬大学医学部附属病院	東京都	イムス葛飾ハートセンター
茨城県	小山記念病院	東京都	東京高輪病院
群馬県	東邦病院	東京都	西東京中央総合病院
埼玉県	上尾中央総合病院	東京都	順天堂大学医学部附属順天堂医院
埼玉県	新久喜総合病院	東京都	東京西徳洲会病院
埼玉県	獨協医科大学埼玉医療センター	東京都	新宿石川クリニック
埼玉県	望星病院	東京都	西新井病院
埼玉県	羽生総合病院	神奈川県	横浜第一病院
埼玉県	狭山神経内科病院	神奈川県	湘南鎌倉総合病院
埼玉県	埼玉石心会病院	神奈川県	戸塚共立第2病院
埼玉県	三愛会総合病院	神奈川県	太田総合病院
埼玉県	三郷中央総合病院	新潟県	新潟県厚生農業協同組合連合会
埼玉県	西埼玉中央病院	静岡県	聖隷富士病院
埼玉県	TMG サテライトクリニック朝霞台	沖縄県	豊見城中央病院
千葉県	亀田総合病院		

4 学生支援の継続

年度の初めに実施される新入生歓迎会を皮切りに、学生が自主的に運営する夏のよさこい、クラス単位での茶話会、臨床実習前後の激励会や反省会、国家試験前の決起集会、大樹祭でのイベント実施など平成 29 年度も多くの学生支援行事を行った。

坂戸よさこいの様子



スポーツデイの様子



大樹祭の様子



5 施設・設備の拡充及び補修

学生満足度向上のために、開学以来、計画的に教育施設の拡充を実行してきた。平成 24 年の 4 号棟建設、平成 25 年度の 1 号棟南側の中庭改修及び裏門設置に続き、平成 27 年度に本部棟が完成した。平成 29 年 10 月 31 日には、体育館・学生会館が竣工した。

- (1) 体育館・学生会館が竣工
- (2) 健康管理センターおよび学生相談室の改修

(1) ①体育館（呼称：Progress）



エントランス



アリーナ



トレーニングルーム



ダンスルーム

②学生会館（呼称：Enjoy！NIMS）

屋上テラス



学生スペース



ロビー



(2) ①健康管理センター



②学生相談室



(3) 教育研究備品の購入

診療放射線学科

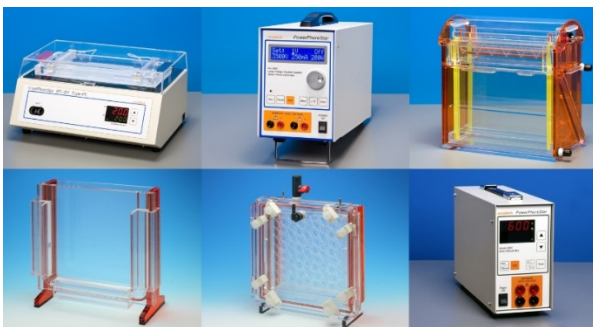
蛍光量計



超音波画像診断装置
(2台)

理学療法学専攻

クールホレスター二次元電気泳動システム



パックウォー

作業療法学専攻



携帯型呼気ガス分析パワーメ



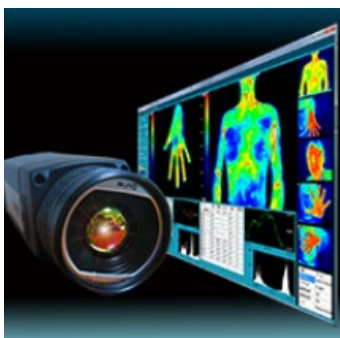
片麻痺患者用モジュラー車い

看護学科



基礎看護用神経解剖頭

生体計測サーモグラフィー



ヘモグロビン測定器

臨床工学科



オペ室改装・人工心肺装置一式

オペ室ベッドサイドモニター



6 教育改革予算（学長特別研究費）実績

平成 29 年度の教育改革の学長特別研究費で計上し実施した研究は下記の 9 項目。

● テーマ	部署・担当	予算額	実績
● 生体ホルモン測定と教育への応用	医療・基礎教育科 鈴木 研太 助教	¥1,040,000	¥1,035,724
● 高麗川流域周辺環境を利用した環境教育プログラムの開発	医療・基礎教育科 白戸 亮吉 助教	¥1,200,000	¥668,222
● がんを早期発見できる新物質の探索～生理学エドゥケーターを目指して～	医療・基礎教育科 小川 由香里 助教	¥1,400,000	¥1,399,786
● モノクローナル抗体、Gal3D11、035-02、及び 12F7 の特徴化	医療・基礎教育科 吉村 和法 教授	¥1,910,000	¥1,909,433
● NIMS グローカル・プロジェクト	医療・基礎教育科 天野 修司 助教	¥800,000	¥596,845
● チーム医療演習における多職種連携教育プログラムの開発	看護学科 森田 恵子 教授	¥1,710,000	¥1,283,570
● 介護職が捉える施設における高齢者の看取りと課題	看護学科 花里 陽子 准教授	¥300,000	¥300,000
● 看護師の臨床実践能力の熟練度による臨床行動の相違に関する検討	看護学科 土屋 守克 講師	¥300,000	¥136,059
● 看護技術教育における拘縮手手浴モデルの構築	看護学科 藤田 文子 准教授	¥1,100,000	¥1,091,876
合計		¥9,760,000	¥8,421,515

平成 28 年度から継続申請している学長特別研究費で計上し実施した研究は下記の 6 項目。

● テーマ	部署・担当	予算額	実績
● 高大連携教育事業（生物）の開発に向けた調査・研究・実績	医療・基礎教育科 鈴木 研太 助教	¥63,240	¥48,476
● NIMS グローカル・プロジェクト	医療・基礎教育科 天野 修司 助教	¥130,000	¥125,050
● 福島原発事故による埼玉県内地域の線量測定・解析及び線量マップ作成	診療放射線学科 齊藤 享子 准教授	¥950,000	¥829,562
● 頭部血管造影検査教育および研究システムの開発	診療放射線学科 桑山 潤 教授	¥647,824	¥448,680
● 高齢者疑似体験装具における身体的付加量に関する検討	看護学科 小山 英子 教授	¥520,000	¥519,942
● 脳機能とリハビリテーションプロジェクト	看護学科 滝沢 隆 助教	¥409,875	¥79,606
	合計	¥2,720,939	¥2,051,316

7 広報活動の推進

(1) 高校生の注目度の高いAO入試や推薦入試の受験傾向が高まるなか、受験生をオープンキャンパスへ招致することは志願者を増やすうえで有効な行事の一つである。こうした観点から、平成29年度も7回のオープンキャンパスを実施し結果として1,014名の参加者があった。また、平成29年12月23日に入試直前相談会を実施し出願に繋げることができた。

オープンキャンパスの様子



(2) 学外での進路ガイダンスや高校での模擬授業、高校生を本学に招致し大学での授業の見学や施設案内なども積極的に行った。

訪問した高校の数は、埼玉県内 141 校、埼玉県を除く関東地区 172 校、東北地区 110 校、その他の地区で 180 校であり、高校主催の進路相談会及び業者による進学説明会には 139 の会場に参加した。

(3) 在学生の保護者向けの広報活動としては、ホームページの内容充実に加え、大学の広報誌「大樹の礎」を引き続き発行し、大学の様子や行事の模様を伝えるために送付した。

8 研究部門の充実

研究活動として紀要委員会より「日本医療科学大学研究紀要」第 10 号（10 周年記念）が発行された。

また、科学研究費補助金の申請は 5 件であった。

9 海外研修制度の充実（サマープログラム 2017 オレゴン研修）

国際交流研究センターの主導により、本学の教育目標の一つである「国際化社会に対応する医療従事者の養成」を目的とした海外研修（NIMS サマープログラム）も7年目を迎えることとなった。研修地は米国オレゴン州ポートランド。参加した本学の学生は国際感覚修得と海外の医療を体験するなど十分な成果を挙げている。

今回のオレゴン研修の特徴として、「Guide Dogs for the Blind」という盲導犬の訓練施設を訪問して、目の不自由な方の Quality of Life の向上に盲導犬がどのくらい貢献しているのかについて、専門職スタッフやボランティアの方々から説明を受け、盲導犬の医療施設や訓練用宿泊施設の見学を行なった。

平成 29 年度の研修は学生 36 名、教員 3 名、職員 1 名、総勢 40 名が参加し、先端医療、高齢者ケア、保健医療システムの実際を見学した。（9月6日～12日）



10 国際学術提携の推進

学生の海外研修を充実させる一方で、学術提携も進んでいる。平成 29 年度は昨年度に引き続き、台湾、ベトナムの 2 ヶ国と国際学術交流を深め、先方学生の本学への招聘や現地への本学学生の派遣による学会発表など着実に成果を上げている。具体的には以下の通り。

平成 29 年 5 月 台湾 第 9 回国際学会学術集会での研究発表
中臺科技大学技術大学 訪問

平成 29 年 6 月 台湾 中臺科技大学技術大学 大学院生 来学

平成 29 年 6 月 ベトナム Akira Education<*1>生徒 来学

平成 30 年 3 月 台湾 第 51 回中 華 民 国 医 事 放 射 学 会 学 術 大 会 に 参 加
中臺科技大学技術大学 訪問

<*1> Akira Education

6 歳～14 歳の子どもたちや中高大学生・社員が日本語を学ぶ教育機関。日本への留学や日本の会社で働くためのサポートをしている。



台湾

第 51 回中 華 民 国 医 事 放 射 学 会 学 術 大 会 に 参 加



ベトナム

Akira Education 生徒 来学



11 学位記授与式の実施

平成 29 年度の「学位記授与式」を 3 月 12 日に川越プリンスホテルにて行った。今回は、診療放射線学科 91 名、リハビリテーション学科理学療法学専攻 74 名、作業療法学専攻 28 名に、看護学科 74 名と臨床工学科 39 名が卒業し合計 306 名が巣立っていった。



3. 財務の概要

財務データの経年比較

◆ ◆ 資 金 収 支 計 算 書 ◆ ◆

(単位：千円)

収 入 の 部				
科 目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
学生生徒等納付金収入	2,195,075	2,346,850	2,364,850	2,256,425
手数料収入	42,459	41,358	39,447	36,464
補助金収入	45,247	40,195	99,051	106,867
資産売却収入	75	2,251	343	11
付随事業・収益事業収入	1,400	1,300	1,300	600
受取利息・配当金収入	1,361	2,211	1,294	1,091
雑収入	19,801	9,549	21,355	9,676
前受金収入	483,500	489,500	399,750	361,800
その他の収入	486,456	509,644	483,479	464,396
資金収入調整勘定	△ 502,862	△ 489,196	△ 506,259	△ 405,828
前年度繰越支払資金	2,589,622	3,134,740	2,415,041	2,477,123
収入の部合計	5,362,134	6,088,402	5,319,651	5,308,625

支 出 の 部				
科 目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
人件費支出	980,910	994,092	1,069,530	1,039,816
教育研究経費支出	319,334	378,544	356,572	365,094
管理経費支出	145,581	158,241	113,376	100,804
借入金等利息支出	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0
施設関係支出	297,193	486,445	377,271	1,024,018
設備関係支出	49,822	90,888	68,769	70,338
資産運用支出	14,200	1,028,440	402,090	75,636
その他の支出	505,079	567,206	512,771	605,957
資金支出調整勘定	△ 84,725	△ 30,495	△ 57,851	△ 34,055
翌年度繰越支払資金	3,134,740	2,415,041	2,477,123	2,061,017
支出の部合計	5,362,134	6,088,402	5,319,651	5,308,625

◆ ◆ 事業活動収支計算書 ◆ ◆
(単位：千円)

科 目		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
教育活動 収入	学生生徒等納付金	2,195,075	2,346,850	2,364,850	2,256,425	
	手数料	42,459	41,358	39,447	36,464	
	経常費等補助金	45,247	40,195	99,051	106,867	
	付随事業収入	1,400	1,300	1,300	600	
	雑収入	19,801	9,549	21,355	9,676	
	教育活動収入計①	2,303,982	2,439,252	2,526,003	2,410,032	
	教育活動 支出	人件費	995,020	1,022,459	1,071,655	1,065,399
		教育研究経費	475,659	558,882	546,119	572,586
		管理経費	153,351	168,389	125,945	113,985
		教育活動支出計②	1,624,030	1,749,730	1,743,719	1,751,970
A. 教育活動収支差額 ①-②		679,952	689,522	782,284	658,062	
教育活動 外収入	受取利息・配当金	1,361	2,211	1,294	1,091	
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	
	教育活動外収入計③	1,361	2,211	1,294	1,091	
	教育活動 外支出	借入金等利息	0	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0
		教育活動外支出計④	0	0	0	0
B. 教育活動外収支差額 ③-④		1,361	2,211	1,294	1,091	
経常収支差額 A+B		681,313	691,733	783,579	659,153	
特別 収入	資産売却差額	75	0	343	11	
	その他の特別収入	0	0	0	0	
	特別収入計⑤	75	0	343	11	
	特別 支出	資産処分差額	2,324	1,116	0	0
		その他の特別支出	0	0	0	0
		特別支出計⑥	2,324	1,116	0	0
特別収支差額 ⑤-⑥		△ 2,249	△ 1,116	343	11	
基本金組入前当年度収支差額		679,064	690,617	783,922	659,164	
基本金組入額合計		△ 323,331	△ 1,580,987	△ 839,699	△ 1,136,478	
当年度収支差額		355,733	△ 890,370	△ 55,777	△ 477,314	
前年度繰越収支差額		741,928	1,097,661	207,291	151,514	
翌年度繰越収支差額		1,097,661	207,291	151,514	△ 325,800	
(参考)						
事業活動収入計		2,305,418	2,441,463	2,527,641	2,411,134	
事業活動支出計		1,626,354	1,750,847	1,743,719	1,751,970	

◆ ◆ 貸 借 対 照 表 ◆ ◆

(単位：千円)

資 産 の 部				
科 目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
固定資産	4,128,827	5,540,745	6,186,760	7,236,080
有形固定資産	3,696,153	4,083,236	4,330,765	5,208,372
特定資産	214,250	1,242,690	1,644,780	1,720,416
その他の固定資産	218,424	214,819	211,215	307,292
流動資産	3,153,073	2,426,586	2,503,270	2,074,994
資 産 の 部 合 計	7,281,900	7,967,331	8,690,030	9,311,074

負 債 の 部				
科 目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
固定負債	214,342	242,709	244,834	270,418
流動負債	657,983	624,431	561,082	497,379
負 債 の 部 合 計	872,325	867,140	805,916	767,797

純 資 産 の 部				
科 目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
基本金	5,311,913	6,892,900	7,732,599	8,869,077
繰越収支差額	1,097,661	207,291	151,514	△ 325,800
純 資 産 の 部 合 計	6,409,574	7,100,191	7,884,113	8,543,277
負債及び純資産の部合計	7,281,900	7,967,331	8,690,030	9,311,074

⑦ 監査報告書


監査報告書

平成 30年 5月 18日

学校法人 城西医療学園

理事会 御中

評議員会 御中

監事 岡本 与志昭 

監事 中林 正則 

私たちは、学校法人城西医療学園の監事として、私立学校法第37条第3項に基づいて、同学園の平成29年度(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)における財産目録及び計算書類(資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表及び附属明細表)を含め、学校法人の業務並びに財産の状況について監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会、評議員会等に出席するほか理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するなど必要と思われる監査手続きを実行しました。監査の結果、私たちは、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録及び計算書類は会計帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務及び財産に関し、不整の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認めます。

以上